

Contents

特別寄稿—新名誉会員—	1
全身の血管外科，周辺の手術，ひとつ上の手術—全ての血管外科（外科）に携わることの魅力—	
明石英俊	
特別寄稿—名誉会員—	3
手術を描く	
大北 裕	
総会報告（第51回学術総会）	5
小櫃由樹生	
ご挨拶（第52回学術総会）	7
宮本伸二	
第52回学術総会報告（第1次）	8
宮本伸二	
寄稿—女性血管外科医—	9
女性血管外科医と子育て—日々思うこと—	
福田和歌子	
ESVS 2022参加報告	10
お知らせ・関連学会学術総会情報	12
日本血管外科学会雑誌 オンライン版目次	
Vol. 31 No. 5～ Vol. 32 No. 3	14

編集 日本血管外科学会 広報委員会

発行 特定非営利活動法人 日本血管外科学会
 〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-27
 テラル後楽ビル1階
 TEL：03-6801-6220
 E-mail：jsvs-desk@jsvs.org
 ※メールアドレスが変更になりました
<https://www.jsvs.org/ja/>

制作 株式会社国際文献社

特別寄稿—新名誉会員— 全身の血管外科，周辺の手術， ひとつ上の手術 —全ての血管外科（外科）に 携わることの魅力—



社会医療法人共愛会戸畑共立病院顧問 明石英俊

この度は日本血管外科学会の名誉会員に推戴していただき有り難うございました。

昨年は私の血管外科医として終わりに近い時期に第50回日本血管外科学会学術総会を会長として開催させていただき，会員の皆様には多大なるご協力をいただき，感謝致しております。その学会のメインテーマを“血管外科の醍醐味”とさせていただきます。そのテーマに関連づけて書かせていただきます。

私の外科への入局はまだ講座制のナンバー外科時代です。第二外科学講座に入局いたしました。当時は大学病院内でも消化管の手術などは第一外科でも第二外科でも頻繁に行われている時代でした。第二外科では心臓血管外科と肝胆膵外科の症例が多く手術されていましたが，胃癌，大腸癌や乳癌なども行われていました。入局後の4年間は心臓血管，肝胆膵，消化管など全ての疾患の主治医となり，診断や手術も含めて勉強させられました。そのおかげで，腹部の消化管や肝胆膵領域の外科も執刀または第一助手として参加することができました。5年目から心臓血管外科分野の中の血管外科グループの研究室に進み，解離性大動脈瘤の研究で博士論文を書きました。私の属する講座では心臓血管外科が心臓外科はもちろんのこと，大動脈外科，末梢血管外科までの手術を行っており，その中に心臓グループ，血管グループといった2つグループ分けが存在する状況でした。当時は心臓グループは人工心肺を使用する，血管外科は人工心肺を使用しない範囲の手術を行うといった暗黙の了解のようなものがありました。血管外科グループで解離性大動脈瘤の研究を行ったものの，このままでは手術はできない可能性もあり，1年間心臓グループの先生や技師の方々と人工心肺を回す手伝いをして，研究から臨床に戻った時に人工心肺を用いる手術に心臓グループの先生の指導の下，参加させていただき，技術を習得できました。同時進行で，腹部大動脈以下の末梢血管の手術も年間100例程度行われていましたので，腹部大動脈瘤やASOから下肢の静脈瘤まで手術し，急患にも全て対応しました。このような中で，自然に急性大動脈解離などの手術も先代の青柳成明教授の指導の下に

執刀するようになり、この頃になると血管グループの後輩も人工心肺を扱えるようになり、本当の意味での心臓血管外科全体で心臓血管外科の全ての疾患を手術できるようになっていったと思います。また、私が所属した大学での他科手術でも血管処理や再建を必要とする手術では必ず、呼びがかかるようになり、呼吸器外科、消化器外科、耳鼻科、泌尿器科、婦人科などの手術も参加できました。他科手術では若い時に行っていた消化器外科の手術の経験、人工心肺を扱えることによるキャパシティの広さが気持ちの余裕と自信を生み出してくれました。最終的には心臓の弁置換や CABG なども数十例経験し、心臓から末梢血管の手術まで執刀できました。そのような中で感じたことは、例えば緊急の腹部大動脈瘤の破裂の手術を行うにしても、腎動脈上の遮断が必要であったり、腸間膜の血腫で人工肛門の作成が必要であったりすることが多々見受けられました。その時に、必要であれば胸腹部大動脈の置換もできる、あるいは大腸の切除もできるという自信と心の余裕が感じられ、冷静に手術が可能であったことで、今までの経験に感謝したものでした。1つの手術手技をあるいは治療手技を行う時はその周辺の手術手技、ひとつ上の手技を理解、経験しておくことの重要性を感じた次第です。

近年では血管内治療としてステントやステントグラフトが約半数に達する状況です。血管内治療にこだわり、それだけで治療を終わらせることも1つの重要な事ですが、開胸開腹で手術を行えば簡単な手術なのか、非常に困難な手術なのかなどを知った上で治療選択することが、患者治療に貢献できる判断ではないかと考えます。

また、心臓血管外科の中では心臓、大動脈を専門とする先生と腹部以下の末梢血管外科を専門とする先生が居られます。例えば CABG の手術でも症例によっては非常に困難な手術となりますし、また、下肢救済のための重症虚血肢への distal bypass は大変難しい手術です。どちらも細い、悪い動脈へのバイパス手術であり、共通する理論もあれば、異なる理論もあります。このような症例を経験することで、お互い必ず参考にできる部分もあるものと考えます。

ここまで書いたように、血管外科では全身の血管の手術（治療法）を理解し、学び、経験することで、治療の選択肢が広がり、良好な手術結果に繋がり、同時に魅力も広がるのではないかと考えることが多くなりました。これが血管外科の魅力、醍醐味かもしれません。

これからは益々、狭い分野での専門化が進むと思われませんが、そのような中でも学会員の皆様には広い視野を忘れることなく、本人が最も得意とする治療の周辺の領域、他の治療法あるいは他科の分野の手術、治療法にも目を向ける余裕を持って診療に携わっていただきたいと思う次第です。

手術を描く

高槻病院心臓・大血管センター長 大北 裕

手術記事を書かない外科医は手術をする資格がない。手術は患者にとって大きなイベントであり、その記録である手術記事は情報管理の根幹をなし、患者安全の面からも、必要な情報は網羅されねばならない。手術室医療スタッフ間の情報の共有や、紹介医への返信、患者管理に関わった内科医、放射線科医へのフィードバック、病理医への情報提供なども手術記事の重要な役割である。さらに、手術記事を記すことは、外科医自身が自分の手術を振り返り、その問題点を洗い出すことで、自己啓発、研鑽できる、という大きな利点がある。この意味で、私は上級医になっても、執刀した手術は必ず自分自身で手術記事を書いてきたし、後進にもそのように指導してきた。



海外では、手術記事は手術内容を秘書に dictation させる方式が多い。必要な情報は最低限、盛り込まれてはいるが、手術のシェーマを見ることは少なかった。米国では A4紙1枚にぎっしりタイプされたものが公式記録であった。その点、小生が師事した Donald N. Ross は必ず1点の手書きのイラストが添えてあったのを憶えている。心臓弁の画など、決して、リアルではないのだが、奇妙に実際の手術の雰囲気伝えていた。また、心臓外科を始めた頃、天理よろづ相談所病院での1960年代の諸先輩の手術記事を読覧するに、外科医それぞれの個性が際立って興味深かった。

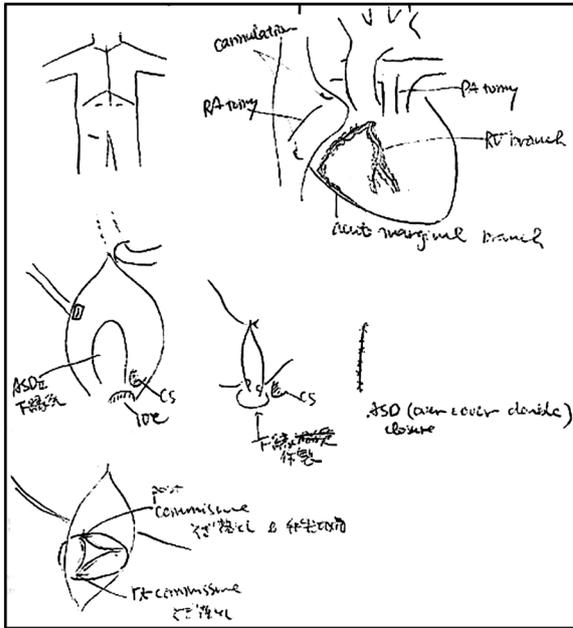
欧米では medical illustrator という職業が確立しており、精妙で実に綺麗で、見事な手術画が添えられた教科書が出版されている。それら、思いつくままに列挙すると、腹部の Zollinger、心臓、大動脈、血管の Cooley、胸部大動脈の Crawford、先天性心疾患の Stark & DeLeval、心臓弁膜症の Carpentier、心臓外科の Doty など、本文中のイラストタッチが統一されており、眺めているだけで嬉しくなる。さりながら、外科医の描く手術画は、芸術画ではなく、精密画でもなく、なかんずく、解剖学者が描く図譜ではない。手術記事のイラストは、外科医の目、判断を通した、透徹図であるはずで、外科医が見えたもの、考えたこと、出来たことしか描けない。それは、外科医の頭の中、術前に構築したイメージを順序立てて表すべきもので、手術手技解説ではなく、手術ビデオとは明らかに違う代物である。

過去の手術記録を繰ってみると、自分の未熟さに愕然とするし、その learning curve の傾きに彼我の差を見せつけられる。図 a) は1980年5月、私が心臓外科研修を開始した数例目の手術記事イラストである。当時は、手術記録を執刀医ではなく、主治医が書くことになっていたが、この手術画からは、執刀医の考えたこと、目指したことは汲み取れまいし、主治医の手術に対する理解度も十分に窺えない。b) は小生の定年直前の AAE AR に対する自己弁温存基部置換術、c) は2020年胸腹部大動脈置換のシェーマであるが、この間40年弱を要して、このレベルしか到達していないとの誹りはあろうが、両者の出来映えの差違は歴然、と自負している。以前からの手術記録を通して眺めてみると、自分の外科医史を綴るようで些か感慨深い。

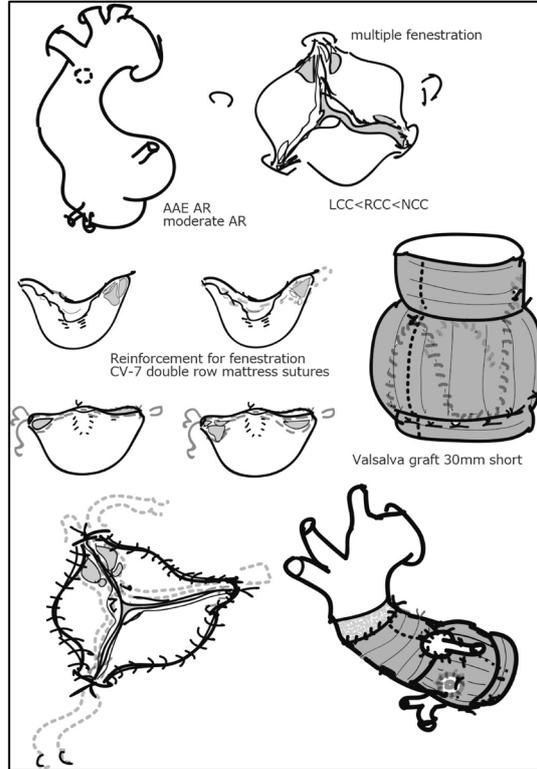
実際の作画は Adobe Illustrator[®] と Photoshop[®] を使用している。多くの tips がこれらの software に含まれているようであるが、残念ながら、私はその恩恵に充分浴しておらず、線を描き、それに着色するのみである。手術イラストをデジタル化した利点は、自分が執刀する手術自体は多少の差はあるが同工異曲であり、疾患群別に原画を整理しておく、手術の度に新しく作画せずとも、minor change で事足ることであろう。このことで、自分のアーカイブができるし、仕事効率も上がる。前回手術と比

較することで、手術の要点を反芻したり、様々な反省点に気付くことが多い。斯くして、古希を超えても手術のあと、PCを前にして、マウス、ペンタブで画を刻んでいる自分が居る。本邦の心臓外科医は欧米と比べて、概して、手術記事に手術イラストを入れる場合が多く、面倒であり、時間もかかるが、私はこれを諒としたい。

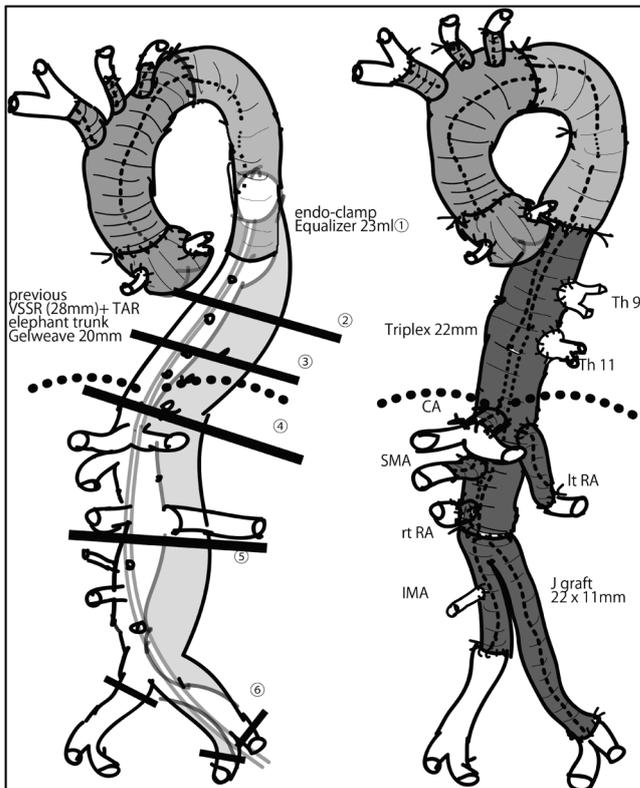
a) 1980年5月, ASD PS



b) 2018年3月, AAE AR



c) 2020年2月 TAAA手術



第51回日本血管外科学会総会を開催して

第51回日本血管外科学会学術総会 会長
国際医療福祉大学三田病院血管外科
国際医療福祉大学医学部血管外科学 教授
小櫃由樹生

会員諸兄、諸先輩のご支援ならびにご指導により、第51回日本血管外科学会学術総会を2023年5月31日（水）～6月2日（金）の日程で、東京都新宿区の京王プラザホテルにて開催いたしました。季節外れの台風2号の襲来にて会員諸兄に多大なるご負担をお掛けしましたが、つつがなく予定プログラムを完遂することができました。感謝するとともに恐縮しております。また、諸物価高騰の折、断腸の思いで参加費を増額させていただきました。会員の皆様にはご迷惑をお掛けしたことも重ねてお詫び申し上げます。

3年間にも及ぶ新型コロナウイルス感染症による疫禍は収束期を迎え、社会生活もコロナ禍以前の状態に戻つつあります。現状を鑑み、本総会におきましても従来の完全対面形式により開催しました。総会とは互いに刺激し合い、切磋琢磨する場と考えています。オンラインまたはハイブリッド開催では得難い白熱した討議や有意義な情報交換の機会の一助となれば幸甚に存じます。

我が国は世界に類のない超高齢化社会を迎えつつあり、血管外科が扱う患者数は増加の一途をたどっています。しかし、増加する患者数に対しての血管外科医の供給がままならないのが現況です。学会の使命として人材の確保と育成は柱となる責務です。本総会におきましては、次代を担う若い先生に活躍の場を提供し、優秀な血管外科医の育成も主要なテーマとして取り上げました。特別企画として「血管外科医のステップアップに対する提言」、「血管外科学会におけるモデル研究と臨床研究推進研究の現状と将来」、「専門医制度報告」を企画し、JSVS・ESVS Joint Sessionにおきましても“Education of Young Vascular Surgeons”をテーマとしました。学生・研修医セッション（20演題）では全てを口頭発表とし、若い先生に対面開催の醍醐味を経験していただきました。

プログラムとして理事長講演、会長講演、SVSとESVSの会長講演を含めた招請講演、2題の特別講演、4題の特別企画、6題の教育講演、医療安全講習会、8題のシンポジウム、8題のパネルディスカッション、13題の要望演題、一般口演、CVIT合同セッション、SVS Japan Chapter、ESVS Joint Session、24の企業共催セミナーなどを準備し、血管外科学会の教育セミナー、ステントグラフトハンズオンセミナーを併設しました。また、血管外科におけるチーム医療の一環として最終日の午後日本血管看護研究会、血管診療技師認定（CVT）講習会、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター講習会も開催しました。総演題数は631題で、1700名を超える方々に参加していただきました。

総会のテーマとしました100周年に向けての新たな1歩を踏み出せたとすれば幸甚です。ご支援いただきました会員、共催企業、スタッフの皆様には深く御礼申し上げます。



別府だよ，全員集合！

—みんなの血管外科 Diversity in Vascular Surgery

第52回日本血管外科学会学術総会 会長
大分大学医学部心臓血管外科学講座 教授
宮本伸二

第52回日本血管外科学会学術総会を，2024年5月29日(水) から31日(金)まで大分県別府市で開催させていただくことになりました。しばらくぶりの新幹線の通らないザ・地方都市開催です。会場は湯けむりの中に建つ別府国際コンベンションセンター（別府ビーコンプラザ）で，本学術総会には十分なキャパシティーがあり1施設で完結できる見込みです。

あえてコロナに触れなくてもよいご挨拶ができることを心よりうれしく思っています（結局触れてますが）。とはいえ全員懇親会はどうするかなどどこまでビフォーコロナに戻すかはいまだ思案中です。



今回のテーマは「みんなの血管外科 Diversity in Vascular Surgery」としました。女性医師支援委員会（現在のダイバーシティ・働き方委員会）の設置当初から委員長を務めていますのでこのテーマは必然でした。「みんな」とは具体的には老若男女そして多職種（領域）です。老（と言っては失礼ですが）—Legendary lecture として日本の血管外科の発展に寄与した living legends にその苦労話をしていただきます。若—こちらは今回の総会の目玉，「決戦 Case report award」。各地方会を制した代表が限られたスライドと身振り手振りでプレゼン力を争います。開始の合図はゴング？ 応援団も登場？ などなどアイデアはまだ尽きません。若者のエネルギーに満ちた場にしたいと思います。また一般演題以外のテーマセッションでは指定した若手に最後のコメントを述べてもらう仕組みにします。男女—もちろん女性医師の参画はマストで多くの女性医師の方に司会をお務めいただきます。女性専用の休憩室「レディースルーム」も復活させます。他領域との交わりでは他科の血管吻合を学ぶシンポジウム，日本フットケア・足病医学会や日本IVR学会，日本静脈学会との合同セッションを組みます。その中では看護師の方にも発表していただきます。その他には「あれから10年企画」。第40回，41回，42回大会時の上級セッションからテーマを抜粋し，10年経過して何がどう変わったか，本当にこの分野は日進月歩なのか，反省して立ち戻るべきことはないのかなど比較検証したいと思います。

最後に，温泉町での学会もそうそうあるものではありません。“学び—食べ—浸かる”の夢のような日々をひとりでも多くの方に♪ババンババンバン♪とお過ごしいただければと思います。

第52回日本血管外科学会学術総会会告（第1次）

第52回日本血管外科学会学術総会を下記のとおり開催いたします。
会員の皆様には多数の演題応募，ご参加をお願い申し上げます。

第52回日本血管外科学会学術総会 会長 宮本伸二

記

会 期： 2024年5月29日(水)～5月31日(金)

会 場： 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ
〒874-0828 大分県別府市山の手町12-1
<https://www.b-conplaza.jp/>

会 長： 宮本伸二
(大分大学医学部心臓血管外科)

テーマ： みんなの血管外科 Diversity in Vascular Surgery

プログラム内容（予定）：

理事長講演，会長講演，招請講演，特別講演，教育講演，シンポジウム，
パネルディスカッション，ワークショップ，特別企画，医療安全講習会，国際セッション，
一般口演，教育セミナー，ハンズオンセミナー，血管診療技師認定（CVT）講習会，
日本血管看護研究会 など

■事務局

第52回日本血管外科学会学術総会 事務局
大分大学医学部心臓血管外科
〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1
TEL：097-586-6732 FAX：097-586-6739

■運営事務局

第52回日本血管外科学会学術総会 運営事務局
日本コンベンションサービス株式会社
〒810-0002 福岡県福岡市中央区西中洲12-33 福岡大同生命ビル7F
TEL：092-712-6201 FAX：092-712-6262
E-mail：jsvs52@convention.co.jp

女性血管外科医と子育て—日々思うこと—

大山記念病院心臓血管外科 福田和歌子

我が家には11歳を筆頭に、6歳、5歳の双子と4人の子供がいます。仕事は努力と気力、体力、周りのサポートで今まで何とかやってきましたが、最近とうとう子供の反抗期がやってきました。11歳の長男はゲームに熱中して、注意しても反発して汚い言葉で口答えをするばかり。子育てだけは全く想い通りにいきません。

私は2007年に医学部を卒業し研修を終えた後、心臓血管外科に入局しました。米国で公衆衛生の大学院を卒業してからの社会人入学で、現役入学生より年上だったので、バリバリ仕事をやらなければいけない時期と結婚、妊娠、出産が重なってしまいました。こうなったら全部やるしかない、周りを巻き込みながら産前産後以外、途切れることなく今まで仕事を続けてきました。女性だからという理由で仕事上、何か制限を受けたことはありませんが、4人の子供の子育てと仕事の両立は、実際のところとても大変で、上司や仕事仲間、両親の理解と強力なサポートがあったので仕事を続けることができました。手術が好きで、切れ目なく仕事を続けるために子供たちは首が座る前に保育園に預かってもらい、仕事に復帰しました。夫も心臓血管外科医だったので子供たちの世話は、保育園と母にとってもお世話になりました。当時は後輩たちにどんどん追い抜かれていくという焦りや悔しさがありましたが、与えられた環境の中で勝負すると割り切り、自分にしかできない仕事を見つけてそれを積み重ねてきました。心臓血管外科の仕事は心臓、大血管から末梢動脈、静脈、リンパまで幅広いため、その時自分の置かれた状況によって仕事内容を選択できたのは有難かったです。特に血管吻合は、自分の手技の優劣がすぐに見え、達成感もあるので続けたいと思っていました。現在、自宅近くの病院でvascular accessの作成と静脈瘤の治療を中心に、細々ながらも血管外科の仕事が続けられているのは幸運だと思っています。



子育てをめぐる環境は子供の成長と共に変化します。子供が小さい時は体調不良時の急な呼び出し、病児保育の確保に翻弄されていましたが、病院附属の「認可外保育園」だったので、こちらの事情も汲んで、かなり融通を効かせてもらいました。夫が出張で、緊急手術などで呼び出された時や、仕事が忙しくて休養が取れない時は休日保育もお願いできました。その分、保育料は高く、4人分の保育料を引かれて、夫は給料明細を見て毎月怒っていました（国立大学の教員の給料は驚くほど安い!）。子供の将来の学費なども考えると、私もしっかり働かないとまらない状態でした。3年前、夫の退職と共に、両親の助けが得られるように私の実家に転居しました。下の子供たちは「認定こども園」に預けられるようになりましたが、小学校に上がった長男には、「小学校の壁」が立ち塞がります。実家はバス停まで歩いて1時間かかる田舎、私は出勤が朝早いので学校・習い事の送迎は私の両親が頼りです。放課後の学童保育ではいじめもあり、高学年になると預かってくれなくなるなど、子育ての社会資源は十分ではありません。こども園の送迎は夫の担当ですが、家族間でのコミュニケーションは重要で、イレギュラーなこと（仕事が終わらない、子供の体調不良など）が起きると誰が何時にどこに誰を迎えに行く、といういつもの決まりが崩れるため、取り残される子供が出てくることもあります。「認定こども園」は夜間や休日、祝日は預かってもらえず、土曜保育には勤務証明の提出が毎月必要です。さまざまな働き方が求められ、政府や自治体が「少子化対策」を叫びますが、土日祝日は、子供は親が見るのが当たり前という考えから離れていません。本来、働く人たちの味方であるはずの保育園ですら、コロナ禍では風邪症状が一つでもあれば登園させてもらえず、1人が保育園で熱を出したら兄弟まで一緒に帰宅させられたこともあります。使用済みのオムツを保護者が持ち帰るのではなく保育園で処分する方針がやっと表明されたくらいです。子供達が成人するまでの公的支援は不十分で、結局は親がお金を用意しなければなりません。私たちは晩婚ですが、若者たちが将来の希望がもてない、経済的に余裕がないので子供を作らないというのは無理もないことだと思います。

仕事と子育て、全てを100%こなすのは無理です。何かを犠牲にしなければいけない時は必ずあって、その時々で必要と思えるものを選択するしかない。子育てには正解がなく日々暗中模索の繰り返しです。私の場合、仕事と子育てを両方やることで心のバランスが保てているのかもしれませんが、社会が変わるまでまだまだ時間がかかりそうですが、若者たちが心臓血管外科という厳しい仕事と家庭を両立させて行くためには、社会的支援のあり方を柔軟かつ根本的に見直す必要があるだろうと感じています。

ESVS 2022 参加報告

第36回 ESVS Annual Meeting 参加レポート

旭川医科大学外科学講座血管外科学分野 高橋一輝

この度、第50回日本血管外科学会（JSVS）学術総会にて最優秀賞を受賞した副賞として、第36回欧州血管外科学会（ESVS）Annual Meeting に参加させていただきました。JSVS から演題の推薦と参加支援をいただき、このような貴重な経験をさせていただけたことにこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

第36回 ESVS Annual Meeting はイタリア、ローマの LaNuvoia Conference Centre にて開催されました。学会開催期間は2022年9月20～23日で現地では会場内や公共交通機関はマスクでの対応となっておりますが、街の人々はほとんどマスクをしておらず、日本との違いも感じさせられました。Covid-19感染症だけでなく、ウクライナ危機による航空路の変更、インフレーション、原油高騰などの世界情勢も現地に行き肌で感じました。学会ではほとんどのセッションが対面形式で行われ Web での参加は少数となっております。

今回私は ESVS の Best abstracts from national societies symposia で口頭発表をさせていただきました。セッション名の通り、様々な国の代表者と同じ壇上で発表させていただき大変光栄に思いました。発表に際して座長である第36回 ESVS 会長の Mauro Gargiuro 先生よりご紹介をいただき10分間の発表をさせていただきました。Significance of predicting prognoses of chronic limb-threatening ischemia patients using a prognostic risk factor 「カリキュレーターによる CLTI 患者の予後予測の意義」の演題を発表し、座長の先生方よりご質問をいただきました。発表・質疑応答は自分の持てる限りの英語で臨みましたが、自分の英語力の未熟さを感じさせられました。しかし、演題内容に関しては賛辞の言葉もいただき、日本での取り組みを世界の血管外科の先生方に伝えられたことは大変うれしく思いました。また、座長の先生方より「日本血管外科学会からの演題発表を心より歓迎します」と発表の前後で繰り返しお言葉をいただきました。全員の発表後に Mauro Gargiuro 先生と少しの時間ですがご挨拶させていただき、大変恐縮ではありましたが、今後の活躍を期待しているとお言葉をいただき、今後の学術活動に身が引き締まる思いで今回の発表を終えることができました。

初めての国際学会参加と様々な演題発表を拝聴する機会をいただき、各国の取り組みや日本との違いを肌で感じることができました。さらに、JAGUAR and ADVANCE, BEST CLI, ACTS-2, BASIL 2/3, SUNDAY, PROMOTE ALI といった血管外科分野の最新の Study の現状や今後の展望についても対面でタイムリーに把握することができるとも貴重な経験をさせていただきました。このような貴重な機会を与えてくださいました JSVS 運営に携わる先生方および会員の皆様方、日々ご指導いただいている東教授、そして日々の診療を共にしている旭川医科大学血管外科スタッフの皆様がこの場をお借りして深く感謝申し上げます。ローマ、トレヴィの泉にコインをささげ、ESVS に戻ってくることを祈願し ESVS Annual Meeting の参加報告とさせていただきます。



写真1 現地会場風景



写真2 発表風景

お知らせ

●ガイドライン委員会からのお知らせ

- SVS 内臓動脈瘤ガイドラインのポケット版日本語訳版同梱のお知らせ

日本血管外科学会 ガイドライン委員会
委員長 重松邦広

SVS | Society for
Vascular Surgery

Visceral
Aneurysms

内臓動脈瘤

Key Points

Recommendations

GuidelineCentral.com*

日本血管外科学会翻訳・出版

この度 SVS 内臓動脈瘤ガイドラインポケット版の日本語訳版が出来上がりましたので、このニュースレターに同梱して、日本血管外科学会の会員の皆様に配布させていただきます。

これまで、日本血管外科学会ガイドライン委員会では ESC と ESVS から合同で出された PAD のガイドライン、SVS・ESVS・WFVS から合同で出された Global Vascular Guideline、の各ポケット版の日本語訳版を作成し、会員の先生方に配布させていただいてまいりました。近年、画像検査の進歩に伴い高頻度で診断されるようになった内臓動脈瘤の診断治療に関するガイドラインが SVS より 2020 年に報告 (J Vasc Surg. 2020; 72 (1S): 3S-39S.) されるとともに、そのポケット版が International Guidelines Center から作成されました。東理事長に多大なるご尽力をいただき、SVS と International Guidelines Center から日本語翻訳の権利をゆずり受けました。日本血管外科学会理事会での承認のもと日本血管外科学会ガイドライン委員会の先生方に翻訳をしていただき、本学会編集委員の先生がたに査読をいただき、学会誌に採用・掲載いただきました (日本血管外科学会雑誌 32 巻 1 号 41-50 頁)。

会員の皆様の臨床業務により簡便にご利用いただけるように今回ポケット版を作成いたしました。会員の皆様には、診療にご活用いただければ、幸甚に存じます。

●国際委員会からのお知らせ

(今後の国際学会の予定)

●8/3-5 The 12th Japan-German Joint Meeting for Vascular Surgery (第 12 回日独血管外科学会)

- ◇ドイツ レーゲンスブルグ
- ◇多くの Social Program を準備中



General information



Meeting venue
University Hospital
Regensburg
Franz-Josef-Strauß-Allee 11
93059 Regensburg
Germany

Congress registration:

<https://www.ukr.de/veranstaltung/12th-german-japanese-conference>



●9/9-13 The 38th Western Vascular Society Annual Meeting

- ◇ハワイ・カウアイ島
- ◇ Junior class の縫合 competition を予定 (日本からも招待?)
- ◇ HP : <https://westernvascularsociety.org/annual-meeting/>

●9/26-29 ESVS 37th Annual Meeting

- ◇北アイルランド ベルファスト
- ◇EVST (ESVS 若手血管外科医の会) との交流予定
- ◇HP : <https://esvs.org/events/annual-meeting/annual-meeting-2023/>

●11/30-12/3 24th Congress of Asian Society for Vascular Surgery (ASVS)

- ◇トルコ アンタルヤ
- ◇HP : <https://asvs2023.org/?p=home>

みなさん、どんどん国際学会に参加して、JSVS のステータスを高めましょう。

Let's be international!

●地方会制度変更のお知らせ

- ・2022年度まで日本血管外科学会と各地方会で別個に行っていた会員管理と年会費徴収は、2023年度（今年度）より日本血管外科学会による一括管理、徴収になります。
- ・地方会にのみ所属する医師会員は無くなります。
- ・日本血管外科学会年会費が10,000円から地方会費分を加え13,000円に変更になります。地方会年会費を別途支払う必要は無くなります。

●学術委員会からのお知らせ

以下の通り、本年の教育セミナーおよびワークショップ開催日をご案内いたします。変更となる可能性がございますので、ホームページにて必ず最新情報をご確認ください。

会員のみならず多数のご参加・ご応募をお待ちしております。

○2023年度教育セミナー開催のお知らせ

本年は、下記の通り教育セミナーの開催を予定しております。座席に余裕がある場合は、当日の参加申し込みも受け付けますが、座席確保のお約束はできませんので、確実に受講をご希望の場合は、必ず事前申込みを行ってください。

■第37回教育セミナー開催予定

【日 時】2023年10月28日（土）AM

【場 所】第63回日本脈管学会総会時会場内（横浜）

【テーマ】血管内治療の全て

○第7回血管内治療ワークショップのお知らせ

【日 時】2023年11月25日（土）・26日（日）（1泊2日）

【場 所】ジョンソン・エンド・ジョンソンインスティテュート東京
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番19号
Tel 044-288-7050

【募集人数】24名（抽選）

【参加費】50,000円（テキスト代込み、宿泊費別）

【対 象】下肢末梢血管に対するアドバンスレベルの血管内治療を始めようとする血管外科医で、腸骨動脈病変に対する血管内治療の経験を有することが望ましい。

※申し込み方法等は、ホームページおよびメール配信にてご案内いたします。

○第8回 Distal Bypass Workshop のお知らせ

【日 時】2023年11月4日（土）・5日（日）（1泊2日）

【場 所】ジョンソン・エンド・ジョンソンインスティテュート東京
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番19号
Tel 044-288-7050

【募集人数】40名（抽選）

【参加費】50,000円（テキスト代、宿泊費別）

【対 象】末梢バイパスの技術習得を希望する心臓血管外科医（大腿膝窩動脈バイパスまたはそれに準じる手術経験を有し、今後 distal bypass 手術の実施を目指している日本血管外科学会または日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会のいずれかの会員医師）

※申し込み方法等は、ホームページおよびメール配信にてご案内いたします。

関連学会学術総会情報

※詳細については各学会ホームページでご確認ください。

■第43回日本静脈学会総会

会期：2023年7月6日（木）・7日（金）

会場：愛媛県民文化会館ひめぎんホール

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5-1

会長：八杉 巧（愛媛大学大学院医学系研究科）

URL：<https://creektive.com/jsp/2023/>

■2023年 ESVS（European Society for Vascular Surgery）

会期：September 26-29, 2023

会場：ICC Belfast, Northern Ireland

2 Lanyon Place, Belfast, BT 1 3 WH.

URL：<https://esvs.org/events/annual-meeting/annual-meeting-2023/>

■第76回日本胸部外科学会定期学術集会

会期：2023年10月19日（木）～21日（土）

会場：仙台国際センター

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

会長：齋木 佳克（東北大学心臓血管外科）

URL：<https://www.congre.co.jp/jats/2023/>

■第64回日本脈管学会総会

会期：2023年10月26日（木）～28日（土）

会場：パシフィコ横浜ノース

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-2

会長：志水 秀行（慶應義塾大学医学部外科学）

URL：<https://www.congre.co.jp/jca/64/>

■第7回関東甲信越 Venous Forum

会期：2023年11月26日（日）

会場：信州大学医学部附属病院外来診療棟4F

〒390-8621 長野県松本旭3-1-1

会長：浦山 弘明（医療法人元山会中村病院外科）

URL：<https://kantokoshinetsuvf.wixsite.com/7thkkvf>

■2023年 ASVS（Asian Society for Vascular Surgery）

会期：November 30 -December 3, 2023

会場：Antalya, Turkey

会長：Tankut Akay

URL：<http://asianvascular.com/index.php/venue/2023/>

■第4回日本フットケア・足病医学会年次学術集会

会期：2023年12月22日（金）・23日（土）

会場：沖縄コンベンションセンター

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1

会長：田中 里佳（順天堂医院足の疾患センター）

URL：<https://site2.convention.co.jp/4jfcpm/>

■第54回日本心臓血管外科学会学術総会

会期：2024年2月22日（木）～24日（土）

会場：アクトシティ浜松

〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1

会長：椎谷 紀彦（浜松医科大学外科学第一講座）

URL：<https://site2.convention.co.jp/54jcsv2024/>

■第124回日本外科学会定期学術集会

会期：2024年4月18日（木）～20日（土）

会場：愛知県国際展示場他

〒479-0881 愛知県常滑市セントレア5丁目10番1号

会長：小寺 泰弘（名古屋大学大学院消化器外科学）

URL：未定

■第30回日本血管内治療学会学術総会

会期：2024年7月12日（金）～13日（土）

会場：パシフィコ横浜アネックスホール

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

会長：伊苺 裕二（東海大学医学部内科学系循環器内科）

URL：未定

■2024年 EVC（European Vascular Course）

会期：March 3-5, 2024

■第32回アジア心臓血管胸部外科学会（32th ASCVTS 2024）

会期：2024.Spring

会場：Wuhan, China

会長：Nianquo Dong

■2024年 VAM（Vascular Annual Meeting）

会期：June 19-22, 2024

会場：McCormick Place, Chicago, Ill.

日本血管外科学会雑誌 Vol.31 (2022)・Vol.32 (2023) Contents

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsvs/-char/ja/>

Vol.31 No.5

講 座

- ・大腿膝窩動脈領域の血行再建術（Open）
松原健太郎ほか（慶應義塾大学外科）
pp. 299-302

原 著

- ・瘤径縮小症例と拡大症例の比較による腹部大動脈瘤
ステントグラフト内挿術後大動脈瘤縮小因子の検討
青木 淳ほか（昭和大学外科学講座心臓血管外科
学部門）
pp. 291-297

症 例

- ・急性大動脈解離 Stanford B型に対する外科的開窓術
の術中に ICG 蛍光法で腸管血流を評価した一例
池松真人ほか（横浜市立大学附属市民総合医療セ
ンター心臓血管センター外科）
pp. 269-272
- ・成人大動脈縮窄症に対し胸部ステントグラフト内挿
術を施行した一例
原 亮太ほか（東京ベイ・浦安市川医療センター
心臓血管外科）
pp. 273-277
- ・縫工筋外側アプローチを併用した大腿深動脈瘤の
1手術症例
眞鍋嘉一郎ほか（京都府立医科大学心臓血管外科）
pp. 279-282

- ・肺塞栓症で発症した下腿動静脈奇形を伴う膝窩静脈
性血管瘤
豊福崇浩ほか（東京都保健医療公社大久保病院外科）
pp. 283-286
- ・川崎病が関与したと考えられた小児の浅大腿動脈瘤
の1例
露木 肇ほか（国立大学法人浜松医科大学第二外
科血管外科）
pp. 303-306
- ・大腿-腓骨動脈バイパス術後末梢側吻合部仮性動脈瘤
に対して超音波ガイド下トロンビン注入療法（UGTI）
を施行した1例
北島史啓ほか（相模原協同病院心臓血管外科）
pp. 307-310
- ・左総腸骨動脈瘤破裂に対して Double D Technique を
施行した1例
細川恭佑ほか（川崎市立川崎病院外科）
pp. 311-315
- ・呼吸苦で発症した膝窩動静脈瘻を伴う膝窩静脈静脈
性血管瘤の1手術例
山口高広ほか（河内総合病院心臓血管外科）
pp. 317-320
- ・異所性右鎖骨下動脈を伴う胸部大動脈瘤の3症例
脇坂穂高ほか（高知県・高知市病院企業団立高知
医療センター心臓血管外科）
pp. 321-325

- ・鈍的腹部外傷を契機として発症した腹部大動脈瘤壁
在血栓由来の下肢動脈急性塞栓症の1例
古賀佑一ほか（佐賀県医療センター好生館心臓血
管外科）

pp. 327-331

- ・巨大右鎖骨下瘤に対して胸骨部分切開にてアプローチ
した1例
藤井大志ほか（金沢医科大学心臓血管外科）

pp. 333-336

- ・上腸間膜動脈閉塞および腹部大動脈瘤切迫破裂を合
併した急性B型大動脈解離の一例
永田恵実ほか（太田西ノ内病院心臓血管外科）

pp. 337-341

Vol. 31 No. 6

講 座

- ・Stent graft-induced new entry tear (SINE) の発生
メカニズムとその予防
島村和男ほか（大阪大学大学院医学系研究科心臓
血管外科）

pp. 363-368

症 例

- ・腹部人工血管置換術後に対麻痺を発症した腎動脈下
腹部大動脈瘤の1例
大野文也ほか（独立行政法人国立病院機構鹿児島
医療センター心臓血管外科）

pp. 343-346

- ・腹部大動脈瘤人工血管置換術10年後に下腸間膜動脈
からの出血により被覆瘤壁が再拡大した1例
若松 豊ほか（愛心メモリアル病院心臓血管外科）

pp. 347-351

- ・鈍的外傷後に形成され破裂に至った大腿深動脈仮性
瘤に対する血管内治療の1例
関 功二ほか（富山県立中央病院心臓血管外科）

pp. 353-357

- ・遺残坐骨動脈閉塞に対し大腿動脈からの側副血行路
合流部の血管形成術を施行した1例
伊藤昌理ほか（愛心メモリアル病院心臓血管外科）

pp. 359-362

- ・担癌患者に発症した急性肺動脈塞栓症に対して緊急
手術を行った1例

萩原裕大ほか（山梨大学医学部第二外科）

pp. 369-373

- ・下肢動静脈瘤および大伏在静脈不全を伴う末梢動脈
疾患に対する段階的血管内治療症例

黄 義浩ほか（医療法人健仁会益子病院心臓血管外科）

pp. 375-378

Vol. 32 No. 1

原 著

- ・Uncomplicated 急性B型解離に対する亜急性期
Preemptive TEVAR の成績と瘤径変化関連因子の検討
滝浪 学ほか（脳神経疾患研究所附属総合南東北
病院心臓血管外科）

pp. 13-18

症 例

- ・足背動脈瘤の2手術例
藤田顕弘ほか（済生会山口総合病院外科）

pp. 1-5

- ・自家静脈グラフト閉塞後に Stump Syndrome 様病態
から血栓症による吻合部狭窄を生じた下肢血行再建
症例

山本 諭ほか（青梅市立総合病院外科）

pp. 7-11

- ・義歯誤飲後の消化管損傷が原因と考えられた感染性
胸腹部大動脈瘤の1例

村上貴志ほか（国立病院機構大阪医療センター心
臓血管外科）

pp. 19-23

- ・Excluder C 3ステントグラフトシステムで constraining
system の抜去に難渋した1例

勝部年雄ほか（新松戸中央総合病院心臓血管外科）

pp. 25-29

- ・ステントグラフト内挿術および残存リエントリー経
由での内腸骨動脈塞栓により偽腔完全血栓化を得た
慢性解離性大動脈瘤の1例

村岡拓磨ほか（新潟県立新発田病院心臓血管外科）

pp. 31-35

- ・坐骨神経痛を主訴とした遺残坐骨動脈瘤に対する血管内治療例
井内幹人ほか（公立豊岡病院組合立豊岡病院呼吸器心臓血管外科）
pp. 37-40
- ・急性肺血栓塞栓症を合併した膝窩静脈静脈性血管瘤の1例
宮崎真奈美ほか（横浜総合病院心臓血管外科）
pp. 51-55
- ・難治性総大腿動脈感染に対する外腸骨動脈-浅大腿動脈バイパス術
柳清洋佑ほか（市立札幌病院心臓血管外科）
pp. 57-61
- ・下肢静脈瘤血管内塞栓術後に未治療の分枝に生じたphlebitisの1切除例
近藤禎晃（社会医療法人清恵会病院血管外科）
pp. 63-67
- ・EVAR 後瘤縫縮術後の瘤再拡大に対し Relining Technique で治療した1例
緑川博文ほか（財団法人脳神経疾患研究所附属総合総合南東北病院心臓血管外科）
pp. 69-72
- ・IgG 4 関連弓部大動脈瘤の術後に肺胞出血を合併し治療の指標に赤血球沈降速度が有用であった IgG 4 血管炎の一例
三輪駿太ほか（滋賀医科大学外科学講座心臓血管外科）
pp. 73-77
- ・May-Husni 変法による大腿静脈再建を施行した稀な類上皮血管内皮腫の1切除例
伊波孝路ほか（独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター心臓血管外科）
pp. 79-82

ガイドライン解説

- ・内臓動脈瘤診療に関する米国血管外科学会ポケットガイド日本語訳版
重松邦広ほか（日本血管外科学会ガイドライン委員会）
pp. 41-50

総説

- ・糖尿病にともなう血管疾患
駒井宏好（関西医科大学総合医療センター血管外科）
pp. 105-109
- ・知っておくべき脈管疾患の診断と治療—リンパ浮腫—
北山晋也（横浜市立大学医学部形成外科）
pp. 141-146

講座

- ・急性大動脈解離の診断
末松義弘（筑波記念病院心臓血管外科）
pp. 93-100
- ・知っておくべき脈管疾患の診断と治療—末梢血管の画像診断とくに静脈エコーの適切な使い方—
佐戸川弘之ほか（福島赤十字病院心臓血管外科）
pp. 115-120
- ・血管外傷
杉本貴樹（兵庫県立淡路医療センター心臓血管外科）
pp. 129-135

症例

- ・肩関節脱臼整復時に発症した右腋窩動脈損傷を伴う急性動脈閉塞の一例
植村 翼ほか（鹿児島市立病院心臓血管外科）
pp. 83-86
- ・心臓カテーテル治療後の手背橈骨動脈穿刺部仮性瘤を契機に診断された後天性血友病の治療例
漆野恵子ほか（中津市立中津市民病院心臓血管外科）
pp. 87-91
- ・未破裂脳動脈瘤を合併した特発性浅側頭動脈瘤の一例
森 旭弘ほか（社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院心臓血管外科）
pp. 101-104
- ・ミトコンドリア脳筋症に併発した腹部大動脈可動性プラークに対してEVARを施行した1例
笹見強志ほか（山陰労災病院心臓血管外科）
pp. 111-114
- ・感染性遺残坐骨動脈瘤に対してステントグラフトを用いた集学的治療にて根治し得た一例
土田勇太ほか（上尾中央総合病院心臓血管外科）
pp. 121-124

- Distal bypass 術施行後に OPCAB を行った包括的高度慢性下肢虚血 (CLTI) の1例
加藤有紀ほか (松波総合病院心臓血管外科)
pp. 125-128
- 足関節部周囲の特発性後脛骨動脈仮性動脈瘤の1手術例
磯村彰吾ほか (長野中央病院心臓血管外科)
pp. 137-140
- 腸回転異常を合併した腎動脈下腹部大動脈瘤の1例
保坂公雄ほか (医療法人鉄蕉会亀田総合病院心臓血管外科)
pp. 147-150

Vol. 32 No. 3

総 説

- スタンフォード B 型大動脈解離に対する急性・亜急性期の侵襲治療—外科手術・血管内治療—
加藤雅明 (森之宮病院心臓血管外科)
pp. 157-163

講 座

- B 型大動脈解離の内科治療
加地修一郎 (関西電力病院循環器内科)
pp. 169-173
- 包括的高度慢性下肢虚血 (CLTI) における創傷管理
辻 依子ほか (神戸大学大学院医学研究科形成外科学分野足病医学部門)
pp. 179-182
- B 型大動脈解離 (慢性期) の外科治療成績
岡田健次 (神戸大学大学院医学研究科外科学講座心臓血管外科分野)
pp. 183-189

症 例

- 下肢浮腫を主訴として発見された遅発性大腿動脈仮性瘤に対するウシ心嚢膜パッチを用いた動脈修復術
川谷洋平ほか (鎌ヶ谷総合病院心臓血管外科)
pp. 151-156
- 右内外腸骨動脈の圧迫による右腸骨静脈圧迫症候群の1例
中島隆之ほか (盛岡友愛病院血管外科)
pp. 165-168
- 骨盤内動静脈奇形に対するカテーテル塞栓術で工夫を要した1例
内山大輔ほか (静岡市立静岡病院心臓血管外科)
pp. 175-178
- 解離性大動脈瘤に伴う DIC に対してトラネキサム酸投与が著効した1例
緒方 誠ほか (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター外科)
pp. 191-195
- 完全型遺残坐骨動脈を合併した炎症性内腸骨動脈瘤の1手術例
望月康晃ほか (杏林大学心臓血管外科)
pp. 197-201
- 総腸骨動脈瘤, 内腸骨動脈瘤, 対側大腿深動脈瘤を合併した破裂性大腿深動脈瘤に対しハイブリッド治療を施行した1例
土田 憲ほか (大崎市民病院血管外科)
pp. 203-209

ガイドライン解説

- 日本静脈学会 / 日本血管外科学会合同日本語訳「ヨーロッパ血管外科学会・下肢慢性静脈疾患診療ガイドライン (2022年版) 要旨」
広川雅之ほか (お茶の水血管外科クリニック)
pp. 211-256

■学会からのご案内

会員登録内容に変更があった場合は、下記 URL より速やかに変更手続きをしてください。原則としてご自身で変更修正等を行っていただいておりますが、不都合がございましたら事務局宛にメールか FAX にて変更内容をご連絡ください。事務局にて変更を行う場合は文書での記録が必要となりますので、お電話でのご連絡はお控えいただけますようお願い申し上げます。

会員登録情報変更：http://www.jsvs.org/ja/application/guidance_change/



タ オル地なのに
 ぴ ったりフィット
 しっかりサポ ート

業界初!

ふんわりソフトな肌ざわりの
 医療用弾性ストッキング

奈良県発産学医連携
 「NARAソックス・プロジェクト」

たぴぽ



たぴぽは他のストッキングより
 足が蒸れない!

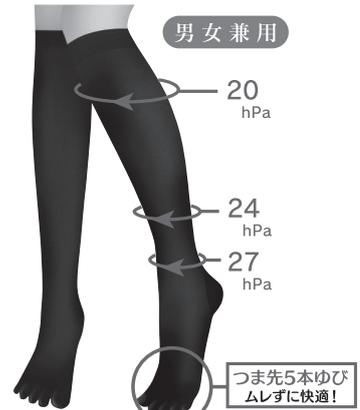
COLOR : ネイビー

圧迫圧 : 弱圧 24-32Hpa/18-24mmHg



レックスフィット ファイブ 5本ゆびで着圧

足首にしっかりと圧をかけ
 徐々に減圧する設計で
 足が軽やか



日本製

- 足のむくみや疲れが気になる
- 仕事や家事で長時間同じ姿勢が続く
- 爪先のムレが気になる

● バランスのよい段階圧力設計

独自の着圧設計で1日中快適な履き心地を求めました。

● 綿混素材の5本ゆびソックス

足ゆびが分かれているので通気性が良く蒸れにくい仕様です。

● ナノファイン加工・保湿加工で毎日快適

毎日履き続けていただけるよう防臭面や肌への優しさにも心がけました。

★ ナノファイン加工

着用しやすい弱圧タイプ

圧迫圧 20mmHg/27hPa

保湿加工

ナイロン・ポリウレタン・コットン

Graduated Compression Stockings from ETI *Rgfit*

世界シェアNo.1実績
 医療用弾性ストッキング
 レックス
 フィット

立ち仕事の方に最適。
 下肢静脈の環流促進に最適。



圧力タイプ

着用しやすい
 弱圧タイプ

しっかり圧迫
 中圧タイプ

生地タイプ

肌が透けて見える
 薄手

肌が透けて見えない
 厚手

カラータイプ

ライト
 ベージュ

ミディアム
 ベージュ

ブラック

爪先タイプ

爪先を締め付けない
 無圧帯加工
 爪先あり

通気性の良い
 爪先なし

お肌が敏感な方のために、綿素材の割合
 を高くしたコットンハイソックスです。

コットンマイクロファイバー

肌あたりの良いコットン素材
 吸撥水性に優れたマイクロファイバー



医療用弾性ストッキング 専門メーカー

株式会社 リムフィックス

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目3番12号 ケイズビルディング4F

TEL:03-3818-8493 FAX:03-3818-8495 URL:http://www.limfix.com/

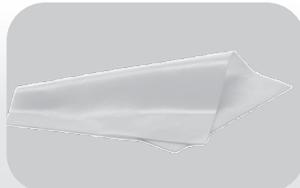
一般医療機器/製造販売許可番号 13B3X90009000001

Best Customer Service
 LimFix



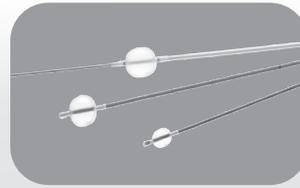
LeMaitre 静脈弁カッター

販売名：レメイト 親水性コーティング 静脈弁カッター
医療機器承認番号：22700BZX00360000



ウシ心膜パッチ XenoSure

販売名：ウシ心膜パッチ XenoSure
医療機器承認番号：30200BZX00135000



血栓除去カテーテル

販売名：オーバーザワイヤー血栓除去カテーテル
医療機器承認番号：21900BZY00046000
販売名：血栓除去カテーテル
医療機器承認番号：16000BZY00913000
販売名：ノバシル血栓除去カテーテル
医療機器承認番号：21600BZY00302000



オーバーザワイヤー 静脈弁カッター

販売名：レメイト オーバーザワイヤー 静脈弁カッター
医療機器承認番号：22600BZX00388000



放射線不透過テープ



Python

スルルーメン カテーテル

販売名：Python スルルーメン カテーテル
医療機器承認番号：21600BZY00628Z00



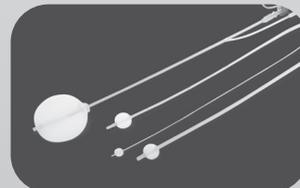
アナストクリップ GC

販売名：アナストクリップ GC
医療機器承認番号：22500BZX00281000



F3 カロチッドシャント

販売名：フルットF3 カロチッドシャント
医療機器承認番号：22700BZ X 00075000



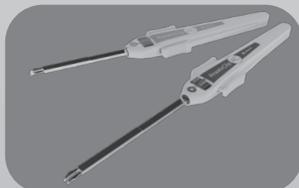
オクルージョンカテーテル

フルット アオルティック・オクルージョン・カテーテル
販売名：血管閉塞用カテーテル
医療機器承認番号：20800BZY00236000

フルット-イリゲーション オクルージョンカテーテル
販売名：レメイト イリゲーションオクルージョンカテーテル
医療機器承認番号：22600BZX00001000

フルット スモール オクルージョンカテーテル
販売名：レメイト スモールオクルージョンカテーテル
医療機器承認番号：22500BZX00098000

ディスタル バフュージョンカテーテル
販売名：レメイト ディスタルバフュージョンカテーテル
医療機器承認番号：22600BZX00156000



アナストクリップ AC

販売名：アナストクリップ VCS
医療機器承認番号：22000BZX00978000



ライフスパン e-PTFE グラフト

販売名：ライフスパン ePTFE グラフト
医療機器承認番号：20800BZY00648000

製造販売業者

レメイト・バスキュラー合同会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町16-1 共同ビル一番町1階

TEL. 03-5215-5681 FAX.03-5215-5682

<https://lemaitre-japan.co.jp>



Medtronic

VenaSeal™ Closure system



熱を使わない
TLAを使わない
硬化剤を使わない
術後圧迫がいない*

5年後の閉塞率¹

94.6%

世界80ヶ国の
治療実績**

25万例以上

術後1ヶ月の
患者満足度²

98%

医療用接着材(グルー)による下肢静脈瘤血管内塞栓術

ClosureFast™ Radiofrequency ablation system



User Friendly

自動制御された
出力・温度・焼灼時間
により手技の標準化
をサポート

5年後の閉塞率³

94.9%

治療実績

世界で **20**年

日本で約 **10**年

5年後の
VCSSスコア
改善率³

72%

高周波(RF)による下肢静脈瘤血管内焼灼術

* 大きな側枝静脈瘤がある場合や、同時に瘤切除を行った場合は除く
** 2021年4月時点

1 Morrison, N., et al. Five-year extension study of patients from a randomized clinical trial (VeClose) comparing cyanoacrylate closure versus radiofrequency ablation for the treatment of incompetent great saphenous veins. Journal of vascular surgery: Venous and lymphatic disorders. 2020;8(6):978-989.
2 Gibson, K., Ferris, B. Cyanoacrylate closure of incompetent great, small and accessory saphenous veins without the use of post-procedure compression: Initial outcomes of a post-market evaluation of the VenaSeal System (the WAVES Study). Vascular. April 2017;25(2):149-156.
3 Proebstle, TM., et al. Five-year results from the prospective European multicentre cohort study on radiofrequency segmental thermal ablation for incompetent great saphenous veins. Br J Surg. February 2015;102(3):212-218.

お問い合わせ先
コヴィディエンジャパン株式会社
Tel:0120-998-971
medtronic.co.jp

一般的名称:血管内塞栓促進用補綴材
販売名:VenaSeal クロージャー システム
医療機器承認番号:23100BZX00111000
クラス分類:III 高度管理医療機器

一般的名称:治療用電気手術器
販売名:エンドヴィーナス クロージャー システム 3
医療機器承認番号:22800BZX00170000
クラス分類:III/高度管理医療機器 特定保守管理医療機器

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。
© 2021, 2022 Medtronic. Medtronic及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。

EV-171_1.0